

## プログラム

日本パペットセラピー学会第7回大会  
2013年11月17日(日) 於：東京家政大学 16号館 1階 161教室  
テーマ 「パペットを介入することで生まれるものとは・・・」

### プログラム

- 9:30 開場 司会進行 副大会長 兼重 靖典(栃木コラージュ研究会代表)
- 10:00—10:05 開会あいさつ 大会長 近喰ふじ子(東京家政大学)
- 10:05—11:00 大会長講演 近喰ふじ子  
「遊びという面からのパペットの働きの「場」を考える」  
座長 原 美智子(全国心身障害児福祉財団)
- 11:00—12:00 研究発表 座長 中下富子(埼玉大学) (1題 発表10分 討論5分)
1. 江川久美子(足利短期大学) 「小学校におけるパペットセラピーの経験」
  2. 遠藤 毅(えんどう歯科) 「ホスピタルダイアログのパペットセラピーへの応用」
  3. 鈴木雅子・近喰ふじ子(東京家政大学大学院)・森 由美子(所沢教育相談センター)・  
天野 舞(葛飾区子ども発達センター) 「発達障害児に対するパペットの介入の試み」
  4. 上條京子・岡本小智(パペット&アーティストファミリー夢のおもちゃ箱)  
「ターミナルケアに於いてのパペットセラピー実践」
- 12:00—13:00 昼食 DVD 上映 「病院でのパペットセラピー ウェンディー・モーガン」(英国 臨床心理士)
- 13:00—14:00 教育講演 「プレイセラピーで生まれる共感性」 弘中正美(明治大学)  
座長 近喰ふじ子(東京家政大学)
- 14:00—14:20 総会 (会員はご出席ください。)
- 14:20—14:35 休憩 (15分) 資料展示・飲料サービス
- 14:35—16:15 シンポジウム 『パペットを介入することで生まれるものとは・・・』  
座長 田副真美(ルーテル学院大学)・江川久美子(足利短期大学)
- 14:40—15:00 下山寿子(高崎商科大学)  
「パペットを介入することで生まれるものとは、『真のニーズ』の気づきである」
- 15:00—15:20 仁平説子(東北大学病院)  
「情緒的課題を抱える子どもへのドル・プレイにパペットを用いる可能性を探る」
- 15:20—15:40 大井京子(医療法人 尚寿会 大生病院)  
「心理面接にパペットの導入を考えた時—神経難病患者との関わりを通して—」
- 15:40—16:00 山内麻衣(社会福祉法人 巢立ち会)  
「発達障害児へパペットセラピーを実施することの有効性の検討」
- 16:00—16:15 討論 (15分)
- 16:15—16:45 腹話術レッスン「こどものための腹話術」 東 義也(尚綱学院大学)  
座長 末永久志(障害者地域生活支援センターうてな)
- 16:45 閉会あいさつ 副大会長 兼重 靖典
- 17:00—18:30 懇親会(無料) 会場：臨床相談センター3階